

肌寒いかと思うと、日中太陽が出た日はポカポカでグラウンドの芝生に寝転がりたくなるほど気持ちいい季節です。実際私が寝転がった際、狙っていたかのように走って近づき、上に乗っかってこようとするので、なかなかぽかぽか陽気を感じさせてはくれません。これも3年1組の休み時間の楽しいひとときです。

先週は下記の通り、月曜日・火曜日と半日以上校外に出るといふ少し慌ただしい2日間でしたが、どちらも帰校後は集中して授業に取り組んでいました。楽しい学習だけでなく、集中して静かに取り組む学習でも頑張ることができるメリハリある姿を、本当に頼もしく感じます。

社会 ~消防署見学~

8日(金)午前中には瀬戸市消防本部に見学に出かけました。10年以上小学校の教員をしていると、消防署の見学も何度目かになります。14名での見学となると、消防士の方の説明や、全員が消火器の体験をし、全員が放水または梯子車で30mの高さまで上るといふどちらかを体験をさせてもらえる内容の充実度は、今までで1番でした。放水の迫力、梯子車の高さ、消防服の重さを体感したり、様々ある消防車それぞれの特徴や備えられた道具などを説明してもらったりしたことで、お仕事の大変さや消防士さんたちの存在感の大きさを感ずることができたと思います。

普段の授業から、ただ言われたことを聞くだけでなく、「なぜ?」と疑問に思うことを積み重ねているため、消防士の方を質問攻めにしたり、自ら話しかけに行ったりする姿も見られました。普段当たり前のように感じていることに対して、「なぜ消防車は赤いの?」や「どうして身近な存在なのか?」と疑問に感じるスキルを持っていることは、SOLANの子どもたちの特徴でもあり、強みであると感じています。今後もそのスキルを発揮し、自ら探し求めていくことのできる子たちに成長して欲しいと思います。

体育~水泳学習~

9日(火)に第1回目の水泳学習を行いました。前の週から子どもたち同士で話題になっていることが聞けるほど楽しみにしている様子が伺えた一方、前日の鈴木先生からの説明や、当日朝の担任からの説明をしっかりと聞き、バス移動の最中はもちろん、更衣中や実際の学習中もルールやマナーを意識し、しっかりと取り組むことができていました。陸とは違う水の怖さ、楽しむとふざけるとの違いなどが理解できていた証拠だと思います。

実際の水泳活動は途中休憩を挟みながら、合計1時間20分ほど学習をしました。しっかりとインストラクターの先生の話聞き、全員自分の持っている能力を発揮しながら、楽しそうに泳いでいる姿がとても印象的でした。15日(月)の最後の水泳学習も充実した学習になればと思います。

国語 ~話し合い活動~

10日(水)に、国語の授業で取り組んできた話し合い活動の本番を行いました。宿題でやっていた子どもが多かったので、ご存知の保護者の方もいらっしゃると思いますが、今回の学習では、話し合いをする際の役や流れ、また教科書にある台本を参考にしながら、3つのグループに分かれ、自分たちでテーマを決めて台本を作成し、本番に臨みました。話し合いの段階でうまく進まなかったり、意見がまとまらなかったりするグループが出る一方、学校での話し合いはもちろん、帰宅後自分たちでGoogle Meetを繋いで相談し合うグループがいたり、発表までのプロセスは様々でした。本番では、緊張から作った台本のセリフが分からなくなり詰まってしまうグループもあれば、台本通り進めるあまり早口になりあっという間に終わるグループ、準備段階ではスムーズな話し合いができなかったのに、テーマが親しみやすいものだったため、お互いフォローしたりその場で意見を付け足したりしながらうまく流れていくグループがあったりと、こちらが予想していた形とは違う進め方でもとても楽しいものでした。考えを言うのは得意でも、意見を聞き入れたりまとめたり、意見を引き出したりすることはまだまだ苦手な子が多いので、今回の単元は子どもたちにとっても、今後の学級での話し合い活動に活かしていけると感じました。

避難訓練 ~不審者の侵入を想定~

10日（水）4時間目には事前学習を、11日（木）4時間目には不審者の校内侵入を想定した避難訓練を行いました。事前学習では、校内だけでなく校外での注意事項を話したり、不審者は見た目では判断してはいけないといった話をしたりしました。その後、2001年に大阪教育大学附属池田小学校で子どもたち8名の尊い命が失われた事件の話をしました。当時中学生だった私は、隣接する附属池田中学校に友だちがいたため、避難した話を聞きました。また教員になってから学校見学に伺った際、事件当時教員として勤務しておられた校長先生からもお話を伺いました。あの痛ましい事件により、学校の安全対策が強化されるようになりました。この話をする、子どもたちは一斉に緊張感を高め、しっかりと話を聞き、翌日の避難訓練に向けた準備をしているように感じました。

翌日の避難訓練では、これまでの火事や地震の訓練同様、とても緊張感を持ち、集中して臨んでいました。訓練を行う4時間目が始まる際、また放送が流れた時の緊張感を持ちつつ集中する姿はさすが最高学年と感じさせるものでした。これまでの避難訓練や普段校外に出かける際、子どもたちには「先生たちの1番の仕事は君たちを守り、1日を安全に過ごせるようにすることなんだよ。」と話してきました。今日の訓練で、不審者が入ってきた際にどのように対応するのか担当の先生たちが実演する姿を見て、迫力に怖がりつつも、「先生たちが私たちに『守る』って言っていてことがこういうことなんだとよく分かった。」と感想がありました。

子どもたちには今回、事前学習の段階から、「知っている大人の多い校内よりも、知らない人だらけの校外の方が怖いので、一人にならないようにすること。また『近づかない、離れる、すぐ逃げる、知らせる』ことが大事」と伝えました。今回を機に登下校中やお出かけなさった際の安全対策について、ご家庭でもお話しいただければと思います。

写真は消防署の見学の様子、水泳学習の様子、国語の話し合いをしている様子の写真です。